

視野広く、志高く、懐深く。 慈愛あふれるあなたたちの前途に 神の恩寵あれ。 卒業おめでとう!



名古屋学院報

名古屋学院報 第152号
2019年(平成31年)
2月26日発行

発行

名古屋学院
名古屋中学校
名古屋高等学校

名古屋市中区砂田橋
2丁目1番58号
TEL 052-721-5271
http://www.meigaku.ac.jp/

主題聖句

「希望をもって喜び、苦難を耐え
忍び、たゆまず祈りなさい。」
ローマの信徒への手紙 第12章12節

ナゴヤイズム



校長
森田 祐二

私達は100年に一度の大変革の時代を生きているようだ。従来の延長線上には自分達の未来はないらしい。そう、トヨタイズムの豊田章男社長も言っている。

内閣府はSociety 5.0というものを提唱した。それはサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)、超スマート社会ということだ。Society 5.0で実現する社会は、IoTで全ての人とモノがつながり、AIにより必要な情報が提供され、ロボットなどの技術で様々な課題が克服される社会。

誰もが快適で質の高い生活を送ることが出来る社会になるという。なるほど、素晴らしい未来が私達を待っている、かもしれない。AIは世界をより良いものにしていくに違いない。でもAIに新しいものを生み出すことはできない。AIにできるのは過去の事例があり、統計的に判断ができる作業だ。データを過去の事例に基づいて機械的に判断できるだけのものだ。そこに感情はない。

未来はコードで書かれているわけでも、アルゴリズム、XやYの公式にはめられて作られるものではない。コンピュータ・テクノロジーはあくまでもツールだ。人は人と繋がることにより、人を愛することができ、希望ある未来を手に入れることができる。ネットが繋がることもできるだろう。でもネットとデバイスのスクリーンから目を離し、大切な友人や家族とリアルな会話をしてみよう。「いね」とボタンをクリックするのはなく、実際に「いね」と口に出して相手に伝えよう。お互いの目を見つめ、手と手を見つめ、時間が長くながる。デバイスを見つめる時間が長くなる。ちょっと相手と目を合わせよう。ちょっとと気まずいかもしれない、でもその感じ

「あなたは神さまの宝物」



学院長
小林 光

ご卒業、おめでとうございます。あなたの前途に、そして今まであなたを育て導いてくださったご家族にも、主イエスキリストの恵みと祝福を心よりお祈りいたします。

新しい一歩を踏み出すあなたに、この聖書の御言葉を贈ります。「わたしは目にあなたは価値高く、貴く、わたし

はあなたを愛している。」(イザヤ書第42章4節前半)
「わたしの目」とは、神さまの眼差し、神さまがあなたを見つめる目のことです。たとえ周りの大人や友だちや社会があなたを見下し、馬鹿にし、相手にしてくれない時があっても、また、あなた自身も自分のことが嫌い、何の役にも立たず、迷惑ばかりかけている最低の人間だと思っても、神さまはあなたの愛を、かけがえのない大切な存在として愛しておられます。他人がどう評価しようとも、神さまの目にはあなたは高価で貴いのです。このことだけは、どのような時にも忘れないでください。

では何故、神さまの目にあなたは高価で貴いのでしょうか。それはあなたの命も、あなたの体も神さまがお与えになり、この世に誕生させ、あなたの生涯を神さまが計画をもつて導いておられるからです。神さまの宝物です。

造り主なる神さまは、ご自分のすべての作品を一つ一つ知っておられ、ご自分のものとして大切にしておられるのです。知り合いの陶芸家さん案内されて陶器店に入った時、ズラリと並んだ器を見て、私が「あなたの作品はどれですか」と尋ねると、彼は即座にその中の幾つかを指差ししました。「どうして分かるのですか」と聞くと、「だって自分が精魂こめて造ったものだから」と言いました。同じように、神さまは自分が精魂こめて造られたものを造りつづけるには、必ずすべて覚えておられ、一つ一つが宝物のように愛おしいのです。

小さな社会から大きな社会へ



高三学年主任
中山 浩志

高校三年生の諸君卒業おめでとう。また、保護者の皆様には心よりお祝い申し上げます。

長いようであつという間に過ぎ去った高校生活、振り返ればいくつもの思い出があふれてくるのではないだろうか。それら一つ一つは必ず「友達」

「家族」「先生」というキーワードのいずれかまたは複数が含まれているはずだ。「学校」が「家族」「先生」を担って様々な人間関係の場を作ったのです。これこそが「学校」の存在する最も大きな意義ではないでしょうか。この小さな社会での生活は、多くの人間にとって、かけがえのないものになります。自分の人生の一部に刻まれる名高での生活、関わった人すべてに感謝の気持ちを持つことがとても大切なことだと思います。

さて、あなた自身にとって高校生活は充実したものであつたでしょうか。今しかできない自分なりに考えて日々を過ごしていた者も、そうでない者も満足できていますか。充実した時を過ごすことは、言葉で表現する以上に難しいことだと思えます。では見方を変えて、何割ぐらい満足できたでしょうか。仮にそれが八割ぐらいであるならば、今後の生

活ではそれ以上を目標にする、より自分自身を人間的に成長させることができると思えます。成長願望は、人間にとって、倫理観の次に大事なもののだと私は考えています。自分の人生を自分で切り開いていくためには、自己を常に高めていく姿勢を持つことが重要であり、それが有意義な生活を生み出すのではないのでしょうか。

覚悟!?



中三学年主任
渡部 修行

三年生諸君、卒業おめでとう。もう三年も経つんですね。今でも入学式のことを思い出します。少し不安げに、それでも大きな期待に瞳を輝かせていたあの日のことが、まるで昨日のようです。

君たちは名古屋中学校を舞台に、様々な課題に挑みまわした。時には楽しみ、時には苦しみながらも、己と戦い、仲間と共に助け合い、身体も精神も大きく逞しく成長してく

れました。日々の授業やテスト、様々な行事や部活動で、君たちが頑張る姿を見るのが何よりの喜びでした。つらいことや怒ったこともあるけれど、ここまで一緒に頑張ることができて、とても嬉しく思います。ありがとう。

君たちは名古屋中学校を卒業すると共に、九年間の義務教育を終了します。いよいよこれからの人生は、自らの意志で考え決定し、切り拓いていかなければいけません。高校での生活を前に、君たちに何度か迫ってきました。もう覚悟はできましたか?

入学した時に、「自立・挑戦・感謝」という三つのキーワードに気をつけて、名古屋中学校で、自分とは何か見つけてほしいと言いました。その答えは見つかったでしょうか。三年間の努力の中で、自分なりに解答を見つけた人は素晴らしいと思

部活動報告

運動部では、中学・高校テニス、水泳(競泳・水球)、高校陸上競技(ラグビー、文化)部では、高校文学部が全国大会に出場した。

【中学テニス部】

第46回全国中学生テニス選手権大会(8月)

個人戦ダブルス(ベスト16)

宮地 伏見(3年)組

2018全日本ジュニアテニス選手権大会(8月)

16歳以下男子ダブルス(ベスト32)

高田順平(4年)・宮地 吾侑(3年)組

愛知県中学生テニス大会

(団体戦は全国選抜予選)(11月)

個人戦優勝

個人戦ダブルス(ベスト8)

大倉隆太郎・小久保有貴組(中2)

東海地区中学生新人テニス大会(団体兼)

全国選抜中学校テニス大会予選(12月)

団体戦第7位

全国選抜大会の出場ならず

【高校テニス部】

全国高等学校総合体育大会(8月)

団体戦第3位

石博元(6年)・高羽 連(6年)

鈴木悠太(6年)・宮本貴太郎(6年)

林 航平(5年)

(名古屋高校の過去20年間の実績)

優勝4回・準優勝2回・第3位3回

個人戦シングルス(ベスト16)

高羽 連(6年)

2018全日本ジュニアテニス選手権大会

18歳以下シングルス(ベスト8)

石博元(6年)

愛知県高等学校新人体育大会(9月)

団体戦 準優勝

個人戦シングルス

準優勝 大矢祥生(4年)

第3位 林 航平(5年)

第7位 渡邊敦也(4年)

個人戦ダブルス 準優勝

林 航平・大矢祥生組

福井県テニス(岐阜県代表10月)

第6位(岐阜県) 本校から6年生の石博元(岐阜市在住)が出場

全国選抜東海地区大会(団体戦)(11月)

第3位 春休みに博多で開催される第41回全国選抜高校テニス大会への26年連続・31回目の出場が決定

JOCジュニアオリンピックカップ

第39回全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会東海地区予選(11月)

準優勝 林 航平(5年)

第4位 大矢祥生(4年)

【中学ラグビー部】

第29回愛知県中学校ラグビーフットボール大会(10月)

準優勝

決勝 名古屋中12(前半0-15)15名古屋ラグビースクール

【高校ラグビー部】

第14回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会(8月)

種別 安藤優希(5年)と加茂野幹汰(5年)の2名がU17東海ブロック代表として参加した。

ブレイク2位(全国5位)

全国高等学校ラグビーフットボール大会愛知大会(11月)

準優勝

決勝 名古屋10(前半3-26)40中部春日丘

福井県体ラグビー(愛知選抜10月)

第7位 本校からは6年生の渡邊元樹・池田大輔・新谷拓大が出場

少年男子監督・天久善(名古屋高校顧問)

【高校サッカー部】

全国高校サッカー選手権大会愛知県大会(11月)

準優勝

決勝 名古屋1-1(PK7-8)東邦

【高校水泳部】

全国高等学校総合体育大会(8月)

(出場者)17名

風岡卓也(6年)・高橋宇海(6年)・相羽康平(6年)・池田龍哉(6年)・柴垣光佑(6年)・須藤大地(6年)・高谷神威(6年)・佐藤祐斗(5年)・長谷川盾(5年)・川崎太聖(5年)・高橋篤広(5年)・森 一爽(5年)・川崎馬(5年)・木下和(5年)・永井翔太(5年)・柳瀬航志(4年)・近藤 秀(4年)

【主な成績】個人種目 全て予選敗退

福井県大会(9月)

400mドレーラー

第5位 柳瀬航志(4年)

他校生徒3名

400mフリースタイル

第4位 近藤 秀(4年)

他校生徒3名

【高校水球部】

全国高等学校総合体育大会(8月)

1回戦敗退 名古屋高校6-21埼玉栄高校

愛知県高等学校新人体育大会水泳競技大会水球競技(9月)

優勝 決勝 名古屋14-3 岡崎城西高校

【高校バドミントン部】

愛知県高等学校新人体育大会(10月)

第3位 準決勝 名古屋0-3 名経大市郎(第1シード・名北1位)

【高校陸上競技部】

第6回全国高等学校陸上競技選抜大会(8月)

3000m競歩

6位入賞 松本直樹(4年)

第21回東海新人陸上競技選手権大会(11月)

110mハードル

第3位 岩堀剛己(5年)

【自転車競技部】

愛知県新人体育大会・兼全国高等学校選抜自転車競技大会愛知県予選

自転車ロード競技(11月)

第6位 馬場徳通(5年)

選抜大会への出場ならず

【中高文学部】

第21回 高校生全国俳句選手権大会(俳句甲子園)(8月)

団体特別賞(第3位に相当)

出場選手 牛田大貴(6年)・細井淳平(6年)・原田 駿(5年)・塩崎達也(5年)・横井来季(5年)

俳句の完成度に加え、ディベートによる句の鑑賞力も試される。5人1組で行う対戦形式の俳句大会

愛知県高等学校文化連盟文芸専門部作品コンクール(11月)

詩部門 第二席 横井来季(5年)

俳句部門 第一席 難波朔矢(5年)

文芸部誌部門 第二席「文学帖」

詩部門は、初受賞。俳句部門は3年連続受賞。文芸部誌部門は「文学帖」創刊以来10年連続受賞。

俳句部門は、来夏の全国高等学校総合文化祭(さかた文)への出場が決定。

第32回全国高等学校文芸コンクール(9月)

全国高等学校文化連盟主催

短歌部門 入選 横井来季(5年)

俳句部門 優良賞 難波朔矢(5年)

入選 細井淳平(6年)

牛田大貴(6年)

高校生対象の文芸コンクールとしては最大のものであり、文学部としての受賞は5年連続。

第21回全国高校生俳句大賞(6月)

俳句甲子園の出場校が満ちる個人戦たる大会。

団体優秀校 名古屋高等学校

最優秀賞 牛田大貴(6年)

3句入選 牛田大貴(6年)

細井淳平(6年)

原田 駿(5年)

北本見大(5年)

難波朔矢(5年)

磯部 況(4年)

【SGH報告】

【中高被災チーム】

愛知県高文連ボランティア専門部成果発表会(12月)

優秀賞

参加者 松岡謙心(5年)・長谷川智栄(5年)・二色正太郎(4年)・中野清多郎(4年)

来夏の愛知県高文連高校生総合文化祭「アトワスタ」ボランティア部門にて発表予定

大学入学者選抜改革推進事業「SGH甲子園2019」

研究成果プレゼンテーション部門予選通過

3月に関西学院大学で行われる本選に出場予定

【SGH】

全日本高校模擬国連大会(11月)

出場

参加者 中村大喜(5年)・一色正太郎(4年)

東京の国連大学で行われた模擬国連全国大会に出場した。全86組が選抜され本校は43組から構成される会議Aにシリア大使として参加した。

【SGH】

全日本高校模擬国連大会(11月)

出場

参加者 中村大喜(5年)・一色正太郎(4年)

東京の国連大学で行われた模擬国連全国大会に出場した。全86組が選抜され本校は43組から構成される会議Aにシリア大使として参加した。



東京の国連大学で行われた「模擬国連全国大会」の様子

「まきば」へ献金を届けてきました。

宗教部長 大藪博康

12月20日(木)の午後、聖歌隊のメンバー8名、オーケストラ部のメンバー10名、教員2名でバスにのり、日進市の老人ホーム「まきば」へ行きました。今年もクリスマス献金を届け、施設の方と礼拝を行い、短い時間でしたが交流することができました。

クリスマス時期は、教会をはじめ様々な団体が「まきば」を訪れ、交流をされているようで、「まきば」の方々ととても楽しい季節なのだと思います。本校にとっても生徒たちが高齢者施設を知ることや、施設の方と交流する貴重な体験の機会として有意義な時間を過ごさせていただいています。

礼拝が終わり、オーケストラ部の生徒が讃美歌を演奏してくれました。施設の方々には演奏に合わせて「いつくしみ深き」を歌ってくださいました。また「サイレントナイト」は英語で歌っておられました。中高生と施設の方々との音楽のコラボレーションはとても素敵なのでもう少し。生徒たちがメッセージを書いた、クリスマスカードもお渡ししました。

今年是小田部施設長より、生徒一人一人にお菓子のプレゼントをいただきました。生徒たちは大変喜んでいました。



まきば訪問礼拝の様子

愛校祭・体育祭を終えて

今年度より文化祭・体育祭実行委員会が組織され、年度当初から生徒が主体となって準備を進めてまいりました。初めての試みです。戸惑うところも多々ありましたが、我々の想像以上に生徒たちはよく頑張ってくれました。結果、例年以上に盛り上がる愛校祭・体育祭になったのではないかと自負しております。

第67回愛校祭(9月21日・22日)は、男子校であることを大切にしようということで「傾奇者」というテーマに決まりました。SNS等を用いて広く広報活動も行い、2日間合計5,958名の方に「来場していただく」ことができました。メイン企画であるDJと和太鼓のコラボレーションを始め、近隣の園児をご招待した園児企画、みなで協力し工夫を凝らしたクラス企画、文化部のクオリティーの高さはもちろんのこと、近隣では珍しい運動部による体験も充実した部活動企画、探究活動の成果としてのSGHクライズカップなど、今年の愛校祭も充実したものであります。

中学校愛校祭を振り返って

今年度、中学文化祭は、中1は「ボランテア」、中2は「職業体験」、中3は「平和」という学年テーマに沿って企画が作られました。演劇、ビッグアート、教室での企画はどれも生徒の努力が目に見え、浮かんできそうな、しっかりと準備された素晴らしいものばかりでした。体育祭は天気にも恵まれ、大きな事故もなく、みんな一生懸命勝負することができて良かったです。音楽祭は、今年度は開催時期が早めで練習時間がとりにくく、練習に励み、本番でもしっかりと歌えていたと思います。

私が中学生生徒会の主顧問を担当するようになって4年目ですが、毎年反省点を改善しきれていない部分も多く、申し訳ないですが、そのような中、いずれの行事も盛り上がり、有意義なものになっているのは、先生方のご尽力と、生徒たちの努力のおかげであり、本当に感謝しております。

この4年間だけを見ても、新たに作られた良い企画や手法、あるいは意識の高さが引き継がれていくのを目の当たりにして、名中の良き「文化」が作られ、それが引き継がれていくことの重要性を実感しました。その反面、今年度は新たな挑戦が少なかったことが少し残念に思われました。



中学体育祭

中学生生徒会顧問 福岡 翔



高校文化祭



高校体育祭

高校生生徒会顧問 森本康敬

◆模擬国連体験記 「失敗から学ぶことの重要性」

SGHメンバー 高校2年 中村大喜

こんにちは。高校二年中村大喜です。今回この場で僕の模擬国連体験記を綴ることができると大変嬉しく思います。また、この体験記を通して名中、名高の後輩たちに、失敗から学ぶことの重要性を伝え、彼らが将来、人生において実感できるように祈ります。

模擬国連とは、高校生が各国大使になりきって、実際の国連と同じ会議方式で国際問題を議論するいわば「高校生による国連会議」のことです。

さて、僕の名高での模擬国連活動は長いようで短く、とても充実していたように感じます。僕が模擬国連を始めたきっかけは高校一年時に担任の先生に「やってみる？」と聞かれ、何の気なしに返事をしました。当時それなりに返事をしていた自信を持っていた僕は軽い気持ちで、東京で開催された「日本高校模擬国連大会」に臨むことになりました。結果は惨敗でした。周りの高校生の英語力、交渉力に圧倒され、議場では呆然と立ち尽くすしか無かったのです。僕は人生初の模擬国連大会で自分の無力感をただただ痛感するばかりでした。しかし、それと同時に議場で活躍する他校の同級生に対して単純な憧

れを強く感じ、「自分もあんな風になりたい」という思いを強めていきました。

その後名古屋に帰って来た僕は全国大会での憧れを胸に、模擬国連活動に没頭していきましました。さらに、模擬国連に興味を持ってくれた後輩たちを仲間に加え、刺激を受けることの多い日々でした。

そうして、「二回目」の「日本高校模擬国連大会」を迎えました。前年度とは違う、後輩とのペアで挑んだこの大会では、はい段階で議場の「グループ」のインシアティブを握り、他のグループと協力することで一つの決議案を提出することができました。

結果、賞を受賞することはできず、でも周りのレベルの高さを思い知りました。しかし、前年度の失敗から積みあげてきた一年は僕にとって、とても大きな存在になりました。その経験は、初の大会で失敗し続けてこれた賜物だと感じています。

最後に、模擬国連に出会わせてくださった村井先生、指導してくださった杉原先生、後輩たち、そして自分の憧れであり続けてくれた模擬国連の仲間たちに感謝したいです。本当にありがとうございます。

大学入試センター試験を終えて

進路指導部長 立石陽一

今年も一月一九日・二〇日の二日間にわたって大学入試センター試験が行われた。前日の一日にはチャペルで事前指導が行われ、学年主任から激励の言葉を頂いた。今年度本校生徒の受験会場は名古屋大学、南山大学の二会場であった。試験当日は、学年会の教員も各試験会場へ分かれ、生徒ひとりひとりに激励の言葉をかけた。今年のセンター試験は晴天に恵まれ、絶好のコンディションで迎えることができたのではないだろうか。

さてこれから生徒諸君は私大入試、国立大学二次試験を迎える。大学進学を志してから努力を重ね、いよいよ勝負の日を目の前にして、もしかしたら不安な気持ちを抱えている人もいられるかもしれない。君たちは今、試験に直面している。そしてこれからの人生は試験の連続である。試験を前にして、その場で立ちす

くんでしまうのか、試験を自覚し、挑戦し続けることで輝かしい未来を生きていくのか。学年主任の激励を思い出して欲しい。これから全国で勝負に臨もうとしている諸君、君たちは目標に向かって、様々な事に挑戦して努力を重ね、勝負の日を迎えるはずだ。その努力で培った力は人生の宝である。その宝を胸に、自らの進路を叶えるのの一步を踏み出すことができる。喜びと誇りを持って、「男らしく強く」、戦ってきてほしい。



センター試験当日の様子

成人礼拝について

宗教部長 大藪博康

2019年1月4日(金)14時より、2016年度卒業生成人記念礼拝が行われました。今年も500名を超える同窓生と保護者が集まってくださり、礼拝を行うことができました。

14時なつても、友達との会話が弾んでいた。永田中学教頭がメガホンでチャペルに入るように声をかけ、誘導してくれました。同窓生はひさしぶりのチャペルに入ると、整然と礼拝の雰囲気を作ってくれました。石川先生がしっかりと礼拝を守るようにと呼びかけてくれたおかげです。

讃美歌と主の祈りの声も大きく、成人として、紳士として一人一人が立派な態度を取ってくれました。卒業して2年。様々な経験をこのころにのたろうと感慨深いものがありました。

小林光学院長から「わたしを強めてくださる方」と題してお話がありました。神様を信じて生きることにより、何ものをも恐れずに歩んでいく道があることを教えていただきました。また敬愛同窓会会長の安井俊夫



第42回 新春かるた会開催

図書・情報部長 杉原辰雄

今年度の決勝は、高校1位の4年B組ペアと中学1位の1年B組ペアの対決となりました。結果は中学生ペアが勝利しました。出場したチームは、それぞれのドラマを持っているでしょう。その中で、決勝で戦った二チームを紹介させていただきます。

決勝の舞台で1年B組の小林君は、48枚も札を取ったそうです。新時代のヒーロー誕生の予感とともに、かるた会五連覇が期待されます。印象的だったのは、1年B組のペアが試合の節目で、お互いを励ましあった姿です。長尾君のはにかみながらの笑顔も素敵でした。観戦していた者たちは皆清々しい気持ちになったと思います。

一方の4年B組は昨年の準優勝チーム。彼らのこの決勝にける思いを、私は去年から知っています。

結果	
優勝	1年B組 小林君晃基・長尾新真
準優勝	4年B組 木村瑠碧希・則竹勇輝
三位	4年E組 江藤彰馬・福田健好
	1年D組 小澤直生・林 拓孝

名古屋学院人物列伝

戸部 創 1945年(昭和20年) 1964年(昭和39年)卒
学校法人金城学院理事長・元名古屋市立大学長理事長

第十九代校長 秋重 泉

「神様は人間が、まさか人工呼吸器を発明するとは思わなかったでしょう」

新生児用人工呼吸器を開発した戸部先生の言葉だ。実は人間の脳はさまざまな仕組みで守られていて、不適切な人工的換気はかえって重篤な脳障害を引き起こすことになる。安全な人工呼吸器を開発するために、脳障害を検証するモデルを作成しその影響を厳密かつ詳細に解明しなければならぬ。

冒頭の言葉は、神様は人間がこのような装置を作り出すことはなにも思っていない、とさまたない形で障害から人間の脳をプロテクトする仕組みを作っていた、そしてついにその仕組みを解明した人の実感だろう。

戸部先生は1964年3月、名古屋高校を卒業して名古屋市立大学医学部に入学した。入学後「新生児学」の父と呼ばれていた小川次郎教授の研究室に入局。臨床医ではなく研究者の道を歩むことになった。

戸部先生は1970年、名古屋市立大学医学部卒業、医学博士。1977〜78年、米

る。専門は新生児学だ。

先生は名古屋市立大学理事・学長就任時のあるインタビューで次のように答えている。「医療の道を選んだのは、祖父が医師だった影響が大きかったかもしれない。けれども、どうして小児科を専門にしたか問われると本当に困ってしまう(笑)。なぜか大学時代から明らかに小児科に興味があり、それが、小川先生との出会いで決定的に自覚させられた」

新生児医療の研究にすべてをささげてきた戸部先生のライフワークは新生児に特有の脳性小児まひの解明だ。既に脳性麻痺を持った動物実験が成功し、現在は大々的な治験の段階になっている。予防薬の開発は世界の小児科医の夢と言われている。実現すれば世界的業績だ。このような素晴らしい先輩を持つことは私たちの誇りであり、医学部を志す多数の在校生にとって大きな指針となることだろう。

戸部先生の主要な経歴は以下の通り。1970年、名古屋市立大学医学部卒業、医学博士。1977〜78年、米

平成三〇年度愛知県私立学校 経常費補助金について

昨年十一月、愛知県より平成三〇年度の私立学校経常費補助金の内示がありました。この補助金は、保護者負担の軽減、教育条件の維持向上を目的とし、私立学校の人件費及び教育に必要な経常的経費に対し補助されるもので、本学院におきましても大きな効果をもたらしております。

本年度は七億四八八一万円の経常費補助金が交付されることになりました。生徒一人当たり換算いたしますと、高校は三六万三六〇〇円、中学校は三万八二〇〇円です。

また、保護者に対する直接補助である入学納付金補助金は一九一四万五〇〇〇円が交付され、授業料軽減補助金は二

